応急手当ー軽症編

ちょっとした刺し傷や裂傷を負っても、破傷風の予防接種が必要かもしれません。 もし、最後に受けた接種から数年経過しているならば、速やかに医師に相談して下さい。

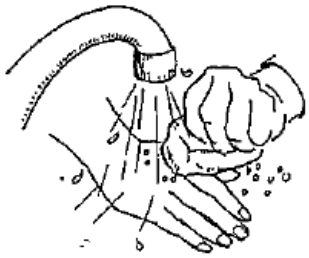
軽傷の傷とは、小さい傷又は、皮膚の表面の傷のことです。 この傷は、出血を伴わないことが多く、もし出血していても、すぐに止まります。

軽傷の怪我には、4 種類あります

1. **切り傷**： ナイフやガラスの破片などの鋭利な部分で切れた傷
2. **裂傷**： のこぎりの刃等鋭利でない荒削りの刃又は機械の尖った物による傷
3. **擦り傷**： コンクリート等のザラザラした表面に擦れものによる傷
4. **刺し傷**： 体に穴が開く傷で、皮膚を突き抜け、体に刺さる、小枝、金属片、ホッチキスの針、釘などによる傷

切り傷と擦り傷の手当て方法

- 刺激の少ない石鹸と水で傷口を洗浄する
- きれいな水で傷口を洗い流す
- 傷口を空気で乾燥させる
- 傷口を滅菌包帯で覆う



裂傷と刺し傷の手当て方法

裂傷や刺し傷は、機械や錆びた物による場合がほとんどで傷の中に残った破片による炎症の危険性が有ります。

- 傷口や傷口周辺を、刺激の少ない石鹸と水で洗い流す
- 傷口周辺を押して、傷口付近を押し出し、傷口の中に残っている破片を血と共に取り除く
- 刺し傷には軽く包帯し、切創や擦り傷にも包帯をする

ちょっとした傷でも炎症する事があることを忘れないで下さい。 数日後に、傷口が赤くなったり、触ると痛かったり、腫れ上がるようでしたら、病院で受診します。